

南 蛮 山 山 行 記 録



庭園路が続く

山頂

三ノ峠山を望む

目的地	南蛮山	期 日	平成22年2月18日(木)・晴れ
山人	笠原正雄単独	特 記	半日の快晴を逃さず歩く。貸切りの山歩き。

地 点 名	時 刻	記 事
長岡グリーンヒル ゴルフ場 P	午前 9:35	低山ハイキングガイド「新潟の里山」の記事に従って曹洞宗定正院前の道を進んだが、すぐに除雪終了だった。丁度、外に居た男に道を聞き、県道に戻る。釜沢集落に入り、直進してゴルフ場 P に。
ツメカンジキで 雪 に 上 る	9:40 発	車道を少し戻ってカンジキを履き、雪道に上がる。25,000 地形図では庭園路と標記されている(以下道とする)。雪が被さっているがカンジキのトレースがある。すぐに半分雪に埋もれた「石彫の道パーク」の案内図がある。
水 場	9:55	道の右下のコンクリート柵にパイプで引水されている。
市 街 地 を 望 む	10:10	道は左右にカーブしながら進んでいる。左手西方向が開け長岡市南部を見下ろす。
十 方 台 展 望 台 4 1 4 標 高 点	10:40~10:45	道はピークを巻いている。それを離れてトレースに従い、一登りする。大きくは無いが際立ったピークだ。コンクリート製の円形展望台。市街全域が見える。ピークから藪を前進で降りる。この先からはトレースが消えているが、並木道となり、進路はしっかり分かる。桜の大樹数本。
南 蛮 峠 と 大 峰 山 を 見 る	10:55	今度はカーブしている道の右手が開けて大峰山と、前方に南蛮峠の休憩東屋が見えて来た。更に進むが、この先の道が急斜面の下につけられているように見えたので、嫌って道を離れ左手の傾斜地を登る。再び蛇行する道に上がった。
南 蛮 山 頂	11:30	道は東屋に向かっているが、GPS での山頂は左手の高いところを指している。道を離れ、一番高いところを目指して登る。標柱も無く、小動物の足跡のみ。三ノ峠山方向を眺めながら腰を降ろす。地図を広げるが、山が入り組んでいて良く分からない。三ノ峠山から右へ向かって比較的平坦に続いているが、萱峠に向かっているのだろうか。背後になる大峰山だけははっきりしている。ゴマ煎餅とコーヒーだけで腹ごしらいとする。良く晴れて風も無く快適。
下 山 へ	11:55	およその地形が呑み込めたので、元の経路をたどらず、林間を直接下って蛇行する道に下る。来た道を下るが、この後も上から自分の踏み跡が見えれば、斜面をショートカットで下る。
十 方 台 展 望 台 下	12:10	今度はピークに上らずに、道なりに進む。
長岡グリーンヒル ゴルフ場 P	12:50 着	ここでも道から建物に向かって直線で斜面を下る。朝は少し冷え込んでいたが、良く晴れてすっかり暖かくなっていた。

昨春、早坂尾根の際、それまで使っていた GPS ポケナビを見失ってしまった。そして、機能の多い GPS を買いなおした。取説を読む気力が年々衰退していく昨今である。実際の使用で慣れるしかない。今回の山行はその試運転が目的であった。更に慣れなければならないが、一応必要な機能は使いこなせた。まずまずである。

一方、ツメカンジキ(高坂カンジキ)の結び方もうまくなかったのを、それを練習することも目的だった。これも問題点があり、何とか解決しそうである。

下山後、長岡市内のスーパーで買い物をした。店舗を出たら天候が急変してみぞれ混じりの雨が降って来た。山中では素晴らしい快晴であっただけに、良いタイミングで山を楽しめたと思った。